



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校 〒351-0015 朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363 E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp

発行責任者 校長 内田 隆



夏休みこそ啓発的経験を！

校長 内田 隆

例年になく梅雨寒が続く、特に生り物野菜の高値となり、梅雨明けが待ち遠しい日々が続いております。学校から持ち帰ったアサガオや野菜苗、ホウセンカなどの植物の管理もこの天候ではとても苦労されているのではないかと心配しております。

さて今年度これまで、児童の学力課題を解決する一つの方策として、児童により良い啓発的な経験を積ませることを考え、四小としていくつかの学習に重点をおき、取り組んでまいりました。そのために地域の方々や保護者の皆様には、四小の教育活動により深く関わりをもっていただきました。学校ファームでの作物管理をはじめ、校地内の草取りや植木剪定などの教育環境の整備。安全見守りとして登下校や放課後の見守り活動、校区巡りなど学習時における引率指導。家庭科における裁縫指導。そして本日行われた校内大掃除に合わせて実施された美化活動などなど、本当に多くの支援をいただきました。これまでのPTA活動に加えて、なかなか手の届かなかった点への協力要請にお応えいただき、四小の教育活動をとっても充実させることができました。ありがとうございました。

もう間もなく学校は夏休みを迎えます。子供達はこれまでの学習を振り返り、宿題等に取り組むこととなります。保護者の皆様の励ましと確認をお願いいたします。そして夏休みにしかできないことに多く挑戦し、啓発的な経験を多く積んでほしいと願っています。



夏休みに経験させること、というと何処かへレジャー等に連れ出さなければならないのか？と思われるかも知れませんが、それだけではありません。子供達にとっての直接体験が重要です。先ほどの植物栽培や観察などもよい取組

啓発的経験の意義と目的 (厚生労働省 HP より)

生徒にとって机に向かって自己理解、社会理解・職業理解を深めることには限界があり、実際に体験を通して深めることは大変重要です。

- ・啓発的経験とは 実際の体験を伴った「自己理解」「社会理解・職業理解」に役立つ経験
- ・意義と目的
 - 知識の習得だけでなく実際に体験することで理解を深める
 - 体験・行動することでしか得られないことを学び、気付きを得る
 - 体験を通じて勤労観、職業観を深め、学習意欲の向上や学習習慣を確立する
- ・留意点
 - 単なる体験レベルで終わらせないこと
 - 目的を持ち、事前事後の指導(動機付けと振り返り)もしっかり行うこと
 - 体験後の感想は言語化させ、生徒自身の中に落としこむこと

です。家の中の清掃や家事仕事に取り組ませることも重要です。地域の祭りに参加して地域活動に貢献したり、地域の方々との交流も大切にしてほしいです。夏休みには、帰省されることもあるでしょう。祖父母のお家での生活や親戚の方々との会話も子供達にとっては重要な経験になります。また会話することは直接、人との対応だけでなく、頭の中で内容を確認したり想像したりと間接的な体験を豊かにすることになります。ですから読書をすることも大変重要な学びになります。



普段、じっくりと取り組ませることができないことにも挑戦させ、取り組み方や、出来栄え、成果を話し合うなど、家庭の中でも啓発的な経験を充実させていただきますようお願いいたします。

話は変わりますが、先週末に4月に実施した埼玉県学力学習状況調査の結果が戻ってきました。結果分析が十分にできていないところではありますが、四小の算数の成績はよかったです。算数科における少人数指導、個に応じた指導を実施してきた成果であると考えられます。しかし課題もあります。学年による差もありますが、国語科における読み取りに課題があります。この点については、国語科だけでなく他の教科にも影響するのではないかと心配されます。(6週間に渡る夏休みを、ぜひ課題を持って生活してほしいので、拙速ではありますが、四小児童の課題をお伝えしておきます。2学期には成果と課題をお伝えします。)

この読み取り対策として、先にも書きました「読書」に十分時間をとり、取り組ませていただければ四小の課題解決にも近づくものと考えています。ご協力、よろしくをお願いいたします。